

# IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況 (2021年4月度)

- 参加手続きが完了しているISP (インターネット・サービス・プロバイダ) は**66社**。  
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**1,857件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**554件**の対象を検知しISPへ通知。

## NOTICE注意喚起の取組結果

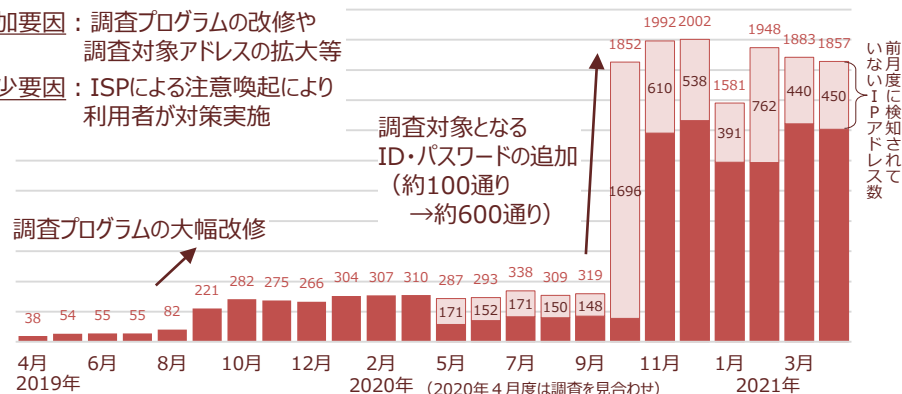
注意喚起対象としてISPへ通知したもの\*

**1,857件** (3月度:1,883件)

(参考) 2019年度からの累積件数: 16,910件  
ID・パスワードが入力可能だったもの: 9.7万件

\* 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)

増加要因: 調査プログラムの改修や  
調査対象アドレスの拡大等  
減少要因: ISPによる注意喚起により  
利用者が対策実施



## NICTER注意喚起※の取組結果

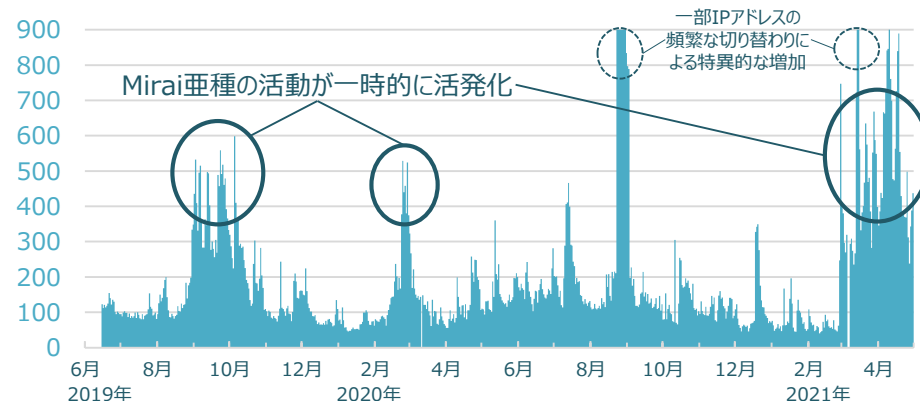
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの\*\*

**1日平均554件** (3月度:469件)

(参考) 期間全体での値: 1日平均206件  
最小: 40件(2021/2/10) / 最大: 3,227件(2020/8/24)

\*\* NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



- ✓ NOTICE注意喚起は、4月度は従来と比べ大きな変化はありません。(1月度の一時的な減少については、3月度の報告を参照してください。)
- ✓ NICTER注意喚起は、2月末以降増加しており、これは海外でのMirai亜種の活動活発化を受け、国内の脆弱な機器が感染したことによるものと考えます。